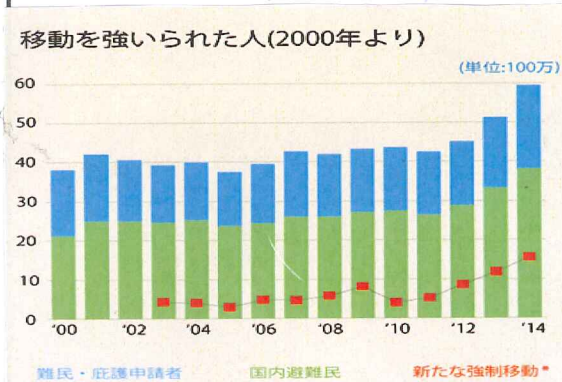


StepUp JAPAN

今国連で
すべきこと!

作成者
河原 慎太郎
真子

難民問題



UNHCR JAPANから引用

難民には二つの問題点がある。一つ目は難民が起らないようにすることだ。世界中で5950万人が、内戦や治安悪化などによって故郷を追われ、強制的に移動しなければならぬ状況に置かれている。2014年末、シリア(388万人)がアフガニスタンを抜いて最多となった。アフガニスタン(259万人)、ソマリア(111万人)と次いでスーダン、南スーダンの順に難民を生んでいる。二つ目は難民を受け入れる社会の問題である。ここにも

人権の尊重の問題がある。E.U諸国では難民を受け入れ社会との摩擦が続いている。例えばフランスのカレーでは、難民キャンプの強制撤去、イギリスの難民受け入れ問題に対してE.U離脱など多くの混乱を引き起こした。



UNHCR JAPANから引用

これが日本の役割だ。この4点を中心に受け入れ国と難民との心を近づける。

全人類の基本的な人権の尊重を訴えている。創造70周年後の国連の果たすべき役割は、戦争をなくすには、世界の人の



防衛省HPから引用

戦争をなくすには、世界の人の

国連は、世界の平和と安全のために活動。障理事会(安保理)を中心に紛争予防、平和維持、平和な社会の建設などで活動している。

成果！ 70年

国際連合

人権を守る 国連の活動	
毎年12月10日 世界人権デー	2015年 国際土壌年
1971年 人権宣言と関する国際年	2003~12年 国連議会の10年
1975年 国際婦人年	2005~15年 「命のための水」国際
1979年 国際児童年	2014~24年 すべての人のための持続可能なエネルギー
2013年 国際キヌア年	2015~24年 アフリカ系の人々のための

今こそ出番だ！ 日本流の教育システムを世界に！

難民問題を解決するには、国連の基本的な人権の尊重の目標に沿って、日本の人権教育を広めることだ。日本の教育水準は高い。その中で特に、世界で誇れるのは、人権教育で、日本人は幼い頃から男女陣がい者、民族、同和問題の解消に向け教育を受け、よいこととしていけなことをし、かりと教えられる。これが日本の世論となっている。

人道的な国際救援活動	
期 間	難民救援活動
1994年 9月~12月	ルワンダ
1999年11月~ 2000年2月	東ティモール
2001年 10月	アフガン
2003年 3月~4月	イラク
2003年 7月~8月	イラク被災